NIE実践報告

1．タイトル：「興味を持った出来事を伝えよう」～新聞スピーチを通して～

2．学校名

和歌山県有田市立保田小学校

3．実践者名（代表者名）

笹谷　淳

4．学年

第５学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

特別活動・総合的な学習の時間等

6．単元（本時の学習課題）名

7．目標（狙い）

・新聞記事やニュースの内容を要約し、自分なりの感想を友だちに伝えることで、身の回りで起こっている出来事に関心を持つことができる。

8．評価の視点

特別な評価はしていない

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・ 朝の会で日直（男女各１名）が新聞スピーチを行う。
・ 原稿は様式を決め、スピーチの数日前に配布し、当日までに完成させておく。
・ 内容は「見出し」「記事の要約」「記事についての意見感想」「実際の記事のスクラップ」とする。
・ 実践期間は５月から２月末の毎朝。（約１５０日実施）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

地域の話題や事件・事故、政治経済やスポーツなどのさまざまな記事が毎日スピーチされた。例えばサッカーの話題が出ると、サッカーチームに入っている他の児童からいろいろな反応が返ってきたり、内閣支持率の話題では、「昨日お父さんが夜に話してたよ。」「それってこういうことやんなあ。」「先生どういうこと？」

12．成果と課題

この取り組みから、身の回りで起こっているさまざまな出来事に対し、今まで以上に興味を持つことができるようになったということは明白であるといえる。
また、新聞係などの役割を与えることで責任感を持たせることもできた。休み時間や朝の読書タイムなどには教室のあちこちで新聞を広げる姿も見られ、児童の生活の中に自然な感じで新聞が入り込んできたと感じることができた。中には、読売新聞の「ポケモン熟語大辞典」をスクラップし始める児童も現れ、うれしく感じた。